作成日 2012 年 12 月 03 日
改訂日 2013 年 7 月 9 日

安全データシート

1　化学品及び会社情報

化学品の名称	:	DP ルーブリカント(紫)
カタログ No.	:	40700059、40700060、40700061
ＳＤＳ整理番号	:	M0147
SDS ID	:	GB-EN/8.0
製造会社名	:	ストルアス社（Struers A/S）
住所	:	Pederstrupvej 84, DK-2750 Ballerup, DENMARK
会社名	:	丸本ストルアス株式会社
住所	:	〒110-0015　東京都台東区東上野１－１８－６
担当部門	:	営業部
電話番号	:	03-5688-2930
ＦＡＸ番号	:	03-5688-2927
緊急連絡先	:	03-5688-2917
推奨用途及び使用上の制限	:	材料微細構造検査試料作成用

2　危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	:	**爆発物**	分類対象外
		可燃性/引火性ガス（化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外
		エアゾール	分類対象外
		支燃性/酸化性ガス	分類対象外
		高圧ガス	分類対象外
		引火性液体	区分 2
		可燃性固体	分類対象外
		自己反応性化学品	分類対象外
		自然発火性液体	区分外
		自然発火性固体	分類対象外
		自己発熱性化学品	分類できない
		水反応可燃性化学品	分類対象外
		酸化性液体	分類対象外
		酸化性固体	分類対象外
		有機過酸化物	分類対象外
		金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性：　混合物としては分類できない
各成分の分類は 11 有害性情報に記載

環境に対する有害性：　混合物としては分類できない
各成分の分類は 12 環境影響に記載

ラベル要素

絵表示又はシンボル　：　炎

注意喚起語　：　危険

危険有害性情報　：　引火性の高い液体及び蒸気

注意書き　**：　【安全対策】**

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
－禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器などを使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

【応急措置】

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
火災の場合：消火するために第 5 節記載の消火剤を使用すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

重要な兆候及び想定される非常事態の概要：妊娠中のエタノール摂取により、胎児に有害影響。
国/地域情報：情報なし。

3　組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分　：混合物
化学名又は一般名　濃度又は濃度範囲：

化学名又は一般名	濃度（%）	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
エタノール	70～85	(2)-202	公表	64-17-5
プロパン-2-オール （イソプロピルアルコール）	5～< 10	(2)-207	公表	67-63-0
1,2-プロパンジオール （プロピレングリコール） （プロパン-1,2-ジオール）	5～15	(2)-234	公表	57-55-6
染料(青)	< 0.1	―	―	81457-64-9
染料(赤)	< 0.1	―	―	130-22-3

4　応急措置

やけどの場合　：　直ちに流水で冷やす。流水で冷却しながら、障害部位に固着していないときは服を脱がす。救急車を呼ぶ。病院に搬送する間も冷却を継続する。

吸入した場合　：　直ちに新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合　：　直ちに汚染衣類等を脱ぐ。付着部位を大量の水で洗浄する。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、まぶたを大きく開けて洗う。もし、刺激が続くなら、眼科医の診察を受ける。病院に行くまで洗浄を続ける。SDS 等の説明書を持参すること。

飲み込んだ場合　：　直ちに口をゆすぎ、多量の水を飲ませ、様子を見守る。もし、気分が悪いときは、医師の診断を受けること。その際、SDS 等の説明書を持参すること。吐き出させてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候　：　第 11 節参照のこと。

応急措置をする者の保護　：　情報なし。

医師に対する特別注意事項：　情報なし。

5　火災時の措置

消火剤　：　水噴霧、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤　：　棒状注水。

特有の危険有害性　：　製品は極めて可燃性であり、室温でも爆発性の混合気体を生成する可能性がある。蒸気は空気より重く、床の近くを移動したり、容器の底に留まるかもしれない。蒸気は、火花、高温面もしくは残り火で着火するかもしれない。

特有の消火方法　：　加熱された容器を水噴霧で冷却すること。リスクがなければ容器を移動する。

消火を行う者の保護　：　消火の際は送気マスクか空気マスクを着用する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、（保護具及び緊急時措置）　：　禁煙、裸火や着火源となるものは使用しない。蒸気の吸入や皮膚や眼への接触は避ける。保護具は第 8 節参照。

環境に対する注意事項　：　下水、排水路や地面に捨てない。

封じ込め及び浄化の方法・機材（回収、中和、封じ込め及び浄化の方法･機材）：
大量に排水に流してはならない。もし、流した場合は吸着剤で除去する。おがくずや可燃性の物質を使用しない。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）　：　禁煙、裸火や着火源となるものは使用しない。局所排気設備を推奨する。

安全取扱注意事項　：　蒸気の吸入や眼と皮膚への接触を避ける。「静電気放電を予防すること。

接触回避　：　酸化剤。

適切な衛生対策　：　換気設備の設置が望ましい。

保管

保管条件　：　可燃性液体の保管方法に従う。
冷温な換気の良い場所に保管。

安全な容器包装材料　：　情報なし。

8　暴露防止及び保護措置

管理濃度　：　本化学品及び構成成分は未設定。

許容濃度(EH40)　：　エタノール　1000 ppm 1920 mg/m3 TWA
プロパン−2−オール（イソプロピルアルコール）
400 ppm 999 mg/m3 TWA
500 ppm 1250 mg/m3 STEL　15 分
1,2−プロパンジオール　総蒸気及び粒子
150 ppm 474 mg/m3 TWA
1,2−プロパンジオール　粒子 10 mg/m3 TWA

設備対策　：適切な換気設備。許容濃度を順守し、蒸気及びミストの吸入リスクを最小化すること。

保護具

呼吸用保護具　：換気が不十分もしくは短時間労働の場合：有機溶剤用の防毒マスクを着用する。

手の保護具　：手袋を着用する。ニトリルゴム製手袋を推奨する。最も適切な手袋を供給メーカーと協議して決め、手袋の破過時間に関する情報を得ること。

眼の保護具　：接触のリスク：ゴーグル型保護眼鏡／顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具　：特別な予防措置は必要ない。
環境ばく露管理　：情報なし。

9　物理的及び化学的性質

外観
物理的状態　：　紫色の液体
臭い　：　アルコール臭
ｐＨ　：　情報なし
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲
沸点　：　情報なし
引火点　：　13℃
爆発範囲　：　下限　3.2 vol%　　上限　19 vol%
蒸気圧　：　情報なし
蒸気密度　：　情報なし
比重(相対密度)　：　0.81
溶解度　：　水に混和
その他のデータ　：　VOC（揮発性有機物質）：720 g/L(計算)

10　安定性及び反応性

反応性　：　情報なし
化学的安定性　：　通常の温度条件で安定。
危険有害反応可能性　：　情報なし
避けるべき条件　：　酸化剤。
混触危険物質　：　酸化剤。
危険有害な分解生成物　：　特になし。

11　有害性情報

換気が不十分の場合、大規模の使用により以下の損傷が起こる可能性がある。
吸入　：　少量：蒸気は喉や呼吸器を刺激し、咳が出る。
大量：蒸気は喉や呼吸器を刺激し、頭痛、めまい及び倦怠が起こる。重篤な場合、意識消失や脳を含む神経系を永久に損傷するかもしれないし、肝臓にも影響が見られるかもしれない。低濃度でもしばしば吸入すると、過敏症、疲労、物忘れが生じ、やがて脳を含む神経系の永久損傷になるかもしれないし、また、ひょっとすると腎臓にも影響するかもしれない。
皮膚接触　：　長時間接触により紅斑や刺激及び乾燥皮膚が起こる。イソプロピルアルコールは皮膚浸透が起こる。
眼接触　：　発赤、痛み、灼熱感。
経口摂取　：　灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失。

以下は化学品成分の GHS 分類情報である。

急性毒性 ： 経口　分類できない
経皮　分類できない
吸入　分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ： 分類できない

眼に対する重篤な損傷
又は眼刺激性 ： プロパン−2−オール　（イソプロピルアルコール）
Eye Irrit. 2;H319　区分２　強い眼刺激（欧州 CLP）

呼吸器感作性 ： 分類できない

皮膚感作性 ： 分類できない

生殖細胞変異原性 ： 分類できない

発がん性 ： 分類できない

生殖毒性 ： 分類できない

特定標的臓器毒性
（単回ばく露） ： プロパン−2−オール（イソプロピルアルコール）
STOT SE 3;H336　区分３ 眠気やめまいのおそれ（欧州 CLP）

特定標的臓器毒性
（反復ばく露） ： 分類できない

吸引性呼吸器有害性 ： 分類できない。

12　環境影響

生態毒性　この化学品は環境に有害性はないと考えられる。

水生環境有害性(急性) ： 分類できない。

水生環境有害性
（長期間） ： 分類できない。

残留性/分解性　この製品は易分解性である。

生体蓄積性 ： 生体蓄積性の情報はない

土壌中の移動性 ： データなし

オゾン層への有害性 ： 影響しないと考えられる。

他の有害影響 ： EU の REACH の PBT/vPvB に該当しない。

13　廃棄上の注意

廃棄方法（化学品(残余廃棄物)、汚染容器及び包装） ：

産廃法を順守して廃棄処理を行う。処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産廃処理業者にマニュフェストを交付し委託する。

14　輸送上の注意

国際規制

海上輸送（IMDG）

国連分類 ： 3(引火性液体類)

品名(国連輸送名)　：　その他の引火性液体類（エタノール、イソプロピルアルコール混合物）

国連番号　：　1993

容器等級　：　Ⅱ

海洋汚染物質　：　非該当

MARPOL 73/78 付属書Ⅱ及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質：非該当

航空輸送(ICAO/IATA)：

国連分類　：　3(引火性液体類)

品名(国連輸送名)　：　その他の引火性液体類（エタノール、イソプロピルアルコール混合物）

国連番号　：　1993

容器等級　：　Ⅱ

国内規制

海上規制情報　：　船舶安全法

航空規制情報　：　航空法

陸上規制情報　：　消防法

特別の安全対策　：　運搬に際しては容器から漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

応急措置指針番号　：　128

15　適用法令

国内法令

化学物質管理促進法　：　非該当

労働安全衛生法　　危険物・引火性の物（エタノール、イソプロピルアルコール）

作業環境評価基準　　イソプロピルアルコール(法第 65 条の 2 第 1 項)

表示対象物質　：　イソプロピルアルコール：施行令第 18 (名称等を表示すべき危険物及び有害物)

通知対象物質　：　エタノール/イソプロピルアルコール：施行令第 18 の 2(名称等を通知すべき危険物及び有害物)

特化則　：　非該当

有機則　：　イソプロピルアルコール（第 2 種有機溶剤等）

毒物及び劇物取締法　：　非該当

化審法　：

特定化学物質　　非該当

監視化学物質　：　非該当

優先評価化学物質　：　イソプロピルアルコール/
プロパン-1,2-ジオール(1,2-プロパンジオール)

消防法　：　危険物
エタノール　第 4 類引火性液体アルコール類（水溶性）

		イソプロピルアルコール　第 4 類引火性液体アルコール類（水溶性） 1,2-プロパンジオール　第 4 類 第三石油類（水溶性）
高圧ガス保安法	:	非該当
火薬類取締法	:	非該当
船舶安全法　危規則	:	引火性液体類
航空法	:	引火性液体類
海洋汚染防止法	:	非該当
大気汚染防止法	:	エタノール/イソプロピルアルコール：揮発性有機化合物（法第 2 条第 4 項）（環境省から都道府県への通達）
水質汚濁防止法	:	非該当
水道法	:	非該当
悪臭防止法	:	非該当
下水道法	:	非該当
麻薬取締法	:	非該当
道路交通法.	:	非該当
化学兵器禁止法	:	非該当
オゾン層保護法	:	非該当
廃棄物処理法	:	非該当
労働基準法	:	非該当
輸出貿易管理令	:	エタノール/イソプロピルアルコール/1,2-プロパンジオール：別表第 2(輸出の承認)
輸入貿易管理令	:	イソプロピルアルコール：別表第 1 の 16 の項(2) エタノール/イソプロピルアルコール：第 4 条第 1 項第 2 号輸入承認品目「2 の 2 号承認」
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	:	エタノール/イソプロピルアルコール：廃棄物の有害成分・法第 2 条第 1 項第 1 号イに規定するもの（平 10 三省告示 1 号）

16　その他の情報

製造会社　:　ストルアス社（デンマーク国）

引用文献等
- ストルアス社 SDS
- 独立行政法人　製品評価技術基盤機構（NITE）の化学情報
- 国際化学物質安全性カード 44、321、554（ICSC）情報(WHO/IPCS/ILO)
- 化学物質毒性評価リスト（NIOSH/RTECS）
- International Uniform Chemical Information Database (IUCLID) 2000 年
- 化学商品（化学工業日報社）2012 年版
- 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）（化学工業日報社）等

記載内容の問い合わせ先：丸本ストルアス株式会社　営業部　電話番号 03-5688-2930

＜記載内容の取扱＞
本安全データシート（SDS）は現時点で入手できる最新の資料、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分に注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。

以上